

## 現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名 岡山大学

学部・研究科等名

医歯薬学総合研究科

## 1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目：Ⅱ 教育内容

## 2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名：教育課程の編成

## (1) 先進医学修練プログラム (Advanced Research Training Program, 以下 ARTプログラムと略記) の導入

卒後臨床研修の必修化に伴い、学部学士課程と大学院博士課程との間に卒後臨床研修が導入され、両課程の分断が生じ、研究志向の学生を学部卒後の早期に研究医に育成することが困難となってきた。そこで、医学科卒前教育、大学院教育並びに卒後臨床研修を連携させた取組を新たに展開し、医学科卒前教育、卒後臨床研修及び大学院教育のシームレスな接続連携を図った。このARTプログラムは、平成21年度「組織的な大学院教育改革推進プログラム」として採択された。

卒後臨床研修と大学院教育を併用するARTプログラムは、平成21年度より実施し、3名(うち1名は科目等履修生)が登録をおこなった。さらに、医学部生が大学院授業科目を履修する科目等履修制度(以下Pre-ARTと略記)を同時に整備し、大学院教育と卒前学部教育のシームレスな接続を実現した。この取組については、平成21年度、13名の登録があった。さらに、平成22年度の予定者数は、資料1、2のとおりであり、順調に浸透してきている。

これらにより、ARTプログラム及びPre-ARTの体制を整備し、事業を開始した。

## (2) 高齢者・在宅・緩和医療コースの充実

社会的要請の高い分野における高度職業人養成を推進するため、博士課程では高齢者・在宅・緩和医療コースの充実をおこなった。平成21年度は、1名のコース履修者があり、コア科目として老年医学・緩和医療特論Ⅰ、Ⅱ(2単位×2科目)の実施をおこなった。選択科目としても開放をおこなったため、老年医学・緩和医療特論Ⅰは7名の履修登録、老年医学・緩和医療特論Ⅱは3名の履修登録を得て取組を開始した。なお、この取組は、専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム(医療経営の問題解決能力を高めるプログラム)(主幹校：九州大学の分担者)GPの獲得により実施している。

## 資料1：ARTプログラムによる入学者

平成21年度入学者数	3名(科目等履修生含む)
平成22年度入学予定者数	7名

(出典：大学院医歯薬学総合研究科等学務課資料)

## 資料2：Pre-ARTによる学部生の大学院授業科目の科目等履修生

平成21年度履修者数	13名
平成22年度履修予定者数	23名

(出典：大学院医歯薬学総合研究科等学務課資料)

## 現況分析における顕著な変化についての説明書(教育／研究)

法人名 岡山大学 学部・研究科等名 医歯薬学総合研究科

### 1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目：Ⅲ 教育方法

### 2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名：主体的な学習を促す取組

- (1) 本研究科博士課程において、課題研究セミナーは所属する専攻分野における課題研究の進捗状況を各専攻（あるいは大講座）において発表し、大学院生と専任教員の中で討論するという大学院教育を実質化させる重要な授業である。平成21年度より、この課題研究セミナーにおいて、大学院生の研究状況を第三者的教員がコメントするコメンテーター制を導入し、セミナーを通じて研究活動の活性化を高め、学位取得に向けて研究内容をさらに高度化させるよう組織的に支援する体制を整えた。（資料1）
- (2) 博士課程がんプロフェッショナルコースの履修者は遠隔地において社会人として就労している学生がほとんどで、また医療の最前線にあって多忙を極めているものが多い。そのような学生が授業を効率的に受講できるシステムを構築するため、eラーニングの試行を行い、遠隔地等における受講の促進を図った。受講者は延べ111名で、本コース受講者にとって有効な方法である。（資料2）
- (3) 「学部・大学院教育と連携したサイエンスマスター・メンターの育成」が、平成21年度「若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム」に採択となり、優れた研究活動を展開している大学院生に関連する海外の先進的研究を展開している研究室に派遣を行い、主体的な研究の促進と質的向上を図った。この取組は、現時点で実施している研究の発展のみならず、大学院生のキャリア選択においても重要で、国際水準の研究者養成に欠かせないものである。（資料3）

資料1：平成21年度課題研究セミナー発表者等数

	発表者	コメンテーター
夏季セミナー	33	33
秋季セミナー	54	54

（出典：大学院医歯薬学総合研究科等学務課資料）

資料2：平成21年度がんプロフェッショナルコース eラーニング聴講者延べ数

	聴講者延べ数
平成21年4月～22年2月	111件

（出典：大学院医歯薬学総合研究科等学務課資料）

資料3：平成21年度若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラムによる大学院生の海外派遣数

派遣大学院生数	派遣先
4	フランス 1, ドイツ 2, アメリカ 1

（出典：大学院医歯薬学総合研究科等学務課資料）





